

果実の生育状況と今後の見通しについて（8月9日現在）
（全国及び主産県生産出荷団体等からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況
うんしゅうみかん	おもて年であり着花量は多かったが生理落果も多かった。果実肥大は概ね良好。
り ん ご	花芽が少ない産地が多く見られたが適正着果量は概ね確保。果実肥大も概ね良好。
な し	8月は茨城県や千葉県の「幸水」中心の出荷期間。果実肥大はやや小玉傾向。
も も	8月は福島県の「あかつき」中心の出荷期間。主産県の生育は小玉傾向ながらも概ね良好。
ぶ ど う	8月は山梨県、長野県の「巨峰」や山形県の「デラウェア」中心の出荷期間。生育はやや遅れが見られるが果実肥大は概ね良好。
か き	着果量は多かったが生理落果も多い傾向。生育はやや遅れが見られる。

品 目	主 産 県 ()書きは昨年8月の4大市場出荷シェア	現在の生育状況及び 今後の見通し	備 考 (放射性物質の検査結果(8月9日現在))
うんしゅうみかん	和歌山県(2%) 愛媛県(9%) 静岡県(2%) 熊本県(4%) 長崎県(4%) 佐賀県(47%)	<ul style="list-style-type: none"> 春先の低温により開花が遅れたものの、その後の好天により生育は回復傾向にあり、果実肥大も概ね良好。着花量はおもて年でもあり多かったが、6月下旬の高温により生理落果が多かった。生産量は、開花時点では前年より2割程度上回る99万トンの見込みだったが、これを下回る見通し。 8月の出荷は愛知県や佐賀県などの施設ものが中心である。 	

りんご	青森県(57%) 長野県(31%)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>昨年の花芽形成期の高温の影響等により花芽が少ない産地が多かった。</u>品種や園地による着果量のバラツキが大きいものの、<u>適正着果量は概ね確保。</u>春先の低温により開花や生育の遅れが見られたが、その後の好天により<u>生育は回復基調で果実肥大も概ね良好。</u> ・8月は、本年産の「つがる」が山梨県や長野県で出荷開始。その他、主に青森県の前年産貯蔵ものが出荷。 	暫定規制値を超えたものはない (1県 6点中 暫定規制値超過 0点)
なし	千葉県(20%) 茨城県(22%) 福島県(1%) 栃木県(8%) 長野県(5%) 鳥取県(4%) 新潟県(1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・春先の低温により開花が遅れたが、その後の<u>生育は回復傾向。</u>開花期の好天により結実は良好。果実肥大はやや小玉傾向となっており、<u>生産量は昨年を上回るものの、平年をやや下回る見通し。</u> ・8月の中心品種は「幸水」であり、主産県となる茨城県や千葉県での生育は概ね良好。 	暫定規制値を超えたものはない (10県 49点中 暫定規制値超過 0点)
もも	山梨県(41%) 福島県(42%) 長野県(9%) 和歌山県(0.4%) 山形県(6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・春先の低温により開花や生育の遅れが見られたが、その後6月下旬以降の好天により<u>生育は回復基調にあったが、全般的には小玉傾向であり、生産量は平年並みからやや少なめの見通し。</u> ・8月の出荷計画は平年並を見込むも、曇雨天もあり伸び悩み気味。中心品種は福島県産の「あかつき」であり、生育は良好。 	暫定規制値を超えたものはない (8県 163点中 暫定規制値超過 0点)

ぶ ど う	山梨県(38%) 長野県(18%) 山形県(5%) 岡山県(0.4%) 福岡県(-)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期からの低温により施設、露地ともに<u>生育は遅れが見られる</u>が、結実は平年並みを確保。肥大も概ね良好であり、<u>生産量は前年より増加の見通し</u>。 ・出荷進度は当初計画よりやや遅れが見られ、8月は旧盆需要のピークに向け、山梨県や長野県の「巨峰」、山形県の「デラウェア」が中心品種。全般的に市場出荷は前年より多くなる見込み。 	暫定規制値を超えたものはない (11県 47点中 暫定規制値超過 0点)
か き	和歌山県(22%) 奈良県(78%) 福岡県(-) 福島県(-)	<ul style="list-style-type: none"> ・春先の低温により開花が遅れ、現在も<u>生育に遅れが見られる</u>。着果量は当初多かったが、その後6月下旬からの高温により一部産地において生理落果が多い状況。生産量は、凍霜害等により大幅な減収となった前年よりは多いものの、平年より少なくなる見通し。 ・8月の出荷は、奈良県や和歌山県からの施設ものが中心。 	

※「主産県」は、果樹生産出荷統計（農林水産省大臣官房統計部）の平成22年産収穫量の多い順に掲載。

※4大市場は京浜、京浜衛星、中京及び京阪神市場。各県の出荷シェアは日本園芸農業協同組合連合会取りまとめ資料より算出。